

## 令和4年度第1回安芸地域アクションプランフォローアップ会議 議事概要

日時：令和4年6月30日（木）13:30～15:30

場所：安芸総合庁舎 2階 会議室

出席：委員24名中、20名が出席（代理出席2名含む）（うちオンライン参加0名）

議事：（1）産業振興計画関連会議年間スケジュールについて

（2）地域アクションプランについて

1）安芸地域アクションプランの進捗状況等について

2）修正案件等について

（3）産業成長戦略について

1）移住促進・空き家対策の取り組みについて

2）関西・高知経済連携強化戦略の取り組みについて

3）連続テレビ小説「らんまん」を生かした博覧会の推進について

議事（1）（2）（3）について、県から説明し、意見交換を行った。（主な意見は下記のとおり）  
議事については、すべて了承された。

※意見交換概要（以下、意見交換部分は常体で記載）

（1）産業振興計画関連会議年間スケジュールについて

意見交換等 特になし

（2）地域アクションプランについて

1）安芸地域アクションプランの進捗状況等について

意見交換等 特になし

2）修正案件等について

意見交換等 特になし

（3）産業成長戦略について

1）移住促進・空き家対策の取り組みについて

（西邨委員）

移住促進の取り組みの1ページの表6の移住者の就業等の状況で、地域おこし協力隊が90組・全体の20%近くの大きな割合を占めているが、この90組には上限があるか、もっと増やすことはできるのか。

（移住促進課 藤野課長）

地域おこし協力隊の移住者の人数は、各市町村が募集をかけ応募してくれた方で、県の窓口を経由して相談があった方が90組になっている。

この枠の上限が決まっているわけではなく、各市町村で必要な人数を積み上げて、募集した結果となる。

市町村がどんな仕事を構えて、何人募集するかによるので、枠が決まっている訳ではない。

(西邨委員)

地域おこし協力隊が3年経過して、その地域に残っている割合はどの程度なのか。このような制度をもっと活用していけば、移住促進に繋がるのではないか。

(移住促進課 藤野課長)

地域おこし協力隊の3年の定着率は約65%となっているので、この定着率をもう少しあげていきたいと考えている。

地域おこし協力隊の任期が終わった後、どんな仕事をするかや住宅の確保が課題と聞いているので、多くの方の定着を目指して県としても取り組んでいきたい。

## 2) 関西・高知経済連携強化戦略の取り組みについて

(植田委員)

関西の高知県人会が解散をしており、組織を再編することを濱田知事に提案をしている。関西室戸会もあるが、できれば東部エリアの市町村単位の関西県人会を作り、年に1回程度連携した会を開催してはどうかと思う。

県にも組織づくりをサポートしてもらいたい。

(地産地消・外商課 富田室長)

大阪の県人会は、解散しており、関西圏においては、京都県人会を始め、これらの連合会の近畿連合会がある。このような県人会の活用について、県においても関西・高知経済連携強化戦略において検討している。

昨年度には、県内の市町村に関西圏とのネットワークについて照会し、当課でリスト化をしているが、コロナ禍でそのリストも活用できていない状況で、今後は外商活動等に活用したいと考えている。

先ほどの県東部市町村の関西圏県人会の組織化については、県としても心強い話であり、連携した活動について検討させていただきたい。

(植田委員)

大阪の高知県人会を立ち上げるにしても、それぞれの市町村が連携してやることに意義があると思っている。しっかり目標を立ててやることになるので、私から他の市町村に依頼するよりも県が音頭をとって立ち上げるのがいいと考えている。

34市町村の代表に参加してもらったら大阪県人会になるが、まず東部のエリアの市町村の県人会ができれば、メンバーが集まって情報交換や交流することができるので、県にバックアップをしてもらいたい。

(横山委員)

現在、東部では関東安芸の会があり、年に1回交流を持っている。ただ各市町村が音頭を取るといふより、関西在住の住民の方の意向がどうなのかが課題になると思う。

3) 連続テレビ小説「らんまん」を生かした博覧会の推進について

(植田委員)

牧野先生の連続テレビ小説に関連する全体的な予算規模を教えてください。

(地域観光課 別府課長)

牧野先生の連続テレビ小説「らんまん」関係の予算規模は、6月議会に観光振興部で約6億円を補正予算で計上している。その中の地域観光課の所管である受入環境整備、草花ガイドの養成、案内機能強化として、約4億7,000万円の補助金を計上している。

このほか、博覧会推進協議会の予算に約1億円、旅広場の改修に約2,000万円～3,000万円を確保している。

今後、必要な経費については、9月補正や来年度の当初予算で確保していきたい。

(その他)

(井上委員)

本日初めて参加させていただき、それぞれに地域の強みを伸ばしていく方向性でよく理解できたが、例えばナスの生産について、全体量をアップして消費も拡大していこうとすることはわかりやすいが、昨今の重油やビニールハウスの資材の高騰しているのもので、本当にこれが持続可能なのかと思う。

安芸市だったら木質ペレットを使ったハウス暖房もあるので、林業や他の産業と連携して地域で循環していくことを考える必要があると危機感を持った。

また、安芸地域の産業として、全体に共通するキーワードとかテーマをわかりやすく発信してほしいと思う。産業の全体像としてどういう方向性かを教えてください。

(佐藤地域産業振興監)

安芸地域9市町村のそれぞれの強みを活かしてアクションプラン等を立てているが、安芸地域全体のテーマを発信するところまでは至っていない。

各市町村の意見を伺いながらテーマを掲げて取り組んでいけたら連携や結束が強くなると思うので、今後考えていきたい。

(以上)